

社会科（公民）調査研究報告書

書名 観点	東京書籍 新編新しい社会公民 9 2 9
取 扱 内 容	<p>○ 公民的分野の目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「私たちと現代社会」において、持続可能な社会の実現や伝統文化の継承と私たちを取り上げ、地理的分野及び歴史的分野との関連を図りながら写真や統計資料を比較したり、学校でのトラブルの事例を取り上げ、問題を追究し、説明したりする活動 ・「私たちと経済」において、コンビニエンスストアの経営に関する事例を取り上げ、判断した過程や結果をまとめたり、少子高齢化と日本の財政、契約と消費生活を取り上げ、消費生活を営む上での責任を自分の生活とかかわらせて考え説明したりする活動 ・「私たちと政治」において、地下鉄の女性専用車やバリアフリーの社会を取り上げ、基本的人権の意味を考察したり、選挙シミュレーション、模擬裁判を取り上げ、地方自治の基本的な考え方や法に基づく公正な裁判の保障について、調査したりする活動 ・「私たちと国際社会の諸課題」において、第二次世界大戦後の主な地域紛争や資源・エネルギー問題を取り上げ、国家間の主権の尊重と協力、国際機構の役割について考察したり、持続可能な社会の形成をテーマとして取り上げ、視点を明確にして考察レポートを作成したりする活動 <p>○ 知識・技能の習得、活用、探究への対応については、見開きの「確認」において、学習内容を言語活動を通して表現するなど、知識・技能を活用する学習活動が取り上げられている。</p>
内容の 構成・ 分量等 ・ 排 列	<p>○ 内容の構成・排列については、「現代社会と私たちの生活」において、現代社会をとらえる見方や考え方の基礎を学習した後に、政治、経済を排列し、最後の章では、社会科のまとめとして、持続可能な社会の形成についての課題学習を設定するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。</p> <p>○ 内容の分量については、「私たちと現代社会」は28ページ、「私たちと経済」は50ページ、「私たちと政治」は84ページ、「私たちと国際社会の諸課題」は46ページであり、総ページ数は247ページで、前回より約15%増となっている。</p>
使用上 の 配慮等	<p>○ 学習意欲を高める工夫については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各章の導入に、学習の見通しをもつ重要語句を掲載するページを設けている。 ・「栗山町の議会制度改革」を掲載し、北海道の事例から地方自治を考察する工夫がなされている。 <p>○ 主体的に学習に取り組む工夫については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広い視野から学習を深めることができるよう、「公民にアクセス」や「深めよう」等を設けている。 ・よりよい社会の形成に参画する意欲や態度が高まるよう、各章の課題を提示する「トライ！」や写真、イラストを掲載している。 <p>○ 巻末に年表「現代社会の歩み」を掲載し、分野間の学習の関連付けをするなど、使用上の便宜が図られている。</p>
その他	

社会科（公民）調査研究報告書

書名 観点	教育出版 中学社会公民 ともに生きる 930
取扱 内容	<p>○ 公民的分野の目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「私たちと現代社会」において、グローバル化・情報化の影響や日常生活と伝統・文化、芸術を取り上げ、地理的分野及び歴史的分野との関連を図りながら写真や統計資料を比較したり、マンションの駐車場問題の事例を取り上げ、問題を追究し、説明したりする活動 ・「私たちと経済」において、りんごの価格決定に関する事例を取り上げ、判断した過程や結果をまとめたり、市場経済の中の社会的責任、循環型社会の実現を取り上げ、消費生活を営む上での責任を自分の生活とかかわらせて考え説明したりする活動 ・「私たちと政治」において、ハンセン病の問題や監視カメラの設置を取り上げ、基本的人権の意味を考察したり、地域における独自の政策・条例、裁判員制度の模擬裁判を取り上げ、地方自治の基本的な考え方や法に基づく公正な裁判の保障について、調査したりする活動 ・「私たちと国際社会の諸課題」において、国際連合のはたらきや世界の地域紛争を取り上げ、国家間の相互の主権の尊重と協力、国際機構の役割等について考察したり、持続可能を妨げる課題をテーマとして取り上げ、視点を明確にして考察しレポートを作成したりする活動 <p>○ 知識・技能の習得、活用、探究への対応については、各領域の「さらにステップアップ」において、学習内容を言語活動を通して表現するなど、知識・技能を活用する学習活動が取り上げられている。</p>
内容の 排列、 構成 ・ 分量 等	<p>○ 内容の構成・排列については、「わたしたちの暮らしと現代社会」において、現代社会をとらえる見方や考え方の基礎を学習した後に、政治、経済を排列し、最後の章では、社会科のまとめとして、持続可能な社会の形成についての課題学習を設定するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。</p> <p>○ 内容の分量については、「私たちと現代社会」は22ページ、「私たちと経済」は60ページ、「私たちと政治」は84ページ、「私たちと国際社会の諸課題」は38ページであり、総ページ数は248ページで、前回より約2%増となっている。（B5判からA B判に変更）</p>
使用 上の 配慮 等	<p>○ 学習意欲を高める工夫については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各章の導入に、学習の見通しをもたせる「はじめに」のページを設けている。 ・倶知安町の「みんなで親しむ雪条例」を掲載し、北海道の事例から地方自治を考察する工夫がなされている。 <p>○ 主体的に学習に取り組むことができるような工夫については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広い視野から学習を深めることができるよう、「読み解こう」や「公民の窓」を設けている。 ・よりよい社会の形成に参画する意欲や態度が高まるよう、各章に学習を深める話題を提示する「読んで深く考えよう」を掲載している。 <p>○ 巻頭に年表「日本と世界の歩み」を掲載し、分野間の学習の関連付けをするなど、使用上の便宜が図られている。</p>
その他	

社会科（公民）調査研究報告書

書名 観点	清水書院 中学 公民 日本の社会と世界 931
取扱内容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 公民的分野の目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 <ul style="list-style-type: none"> ・「私たちと現代社会」において、少子高齢社会の未来やグローバル化の時代を取り上げ、地理的分野及び歴史的分野との関連を図りながら写真や統計資料を比較したり、平日の体育館の利用方法の事例を取り上げ、問題を追究し、説明したりする活動 ・「私たちと経済」において、為替・クレジットカードのしくみに関する事例を取り上げ、判断した過程や結果をまとめたり、契約やクーリングオフ制度、循環型社会を取り上げ、消費生活を営む上での責任を自分の生活とかかわらせて考え説明したりする活動 ・「私たちと政治」において、冤罪事件や職場での男女平等を取り上げ、基本的人権の意味を考察したり、地域活性化・復興に向けた地域の取り組み、日本の裁判員制度の意義を取り上げ、地方自治の基本的な考え方や法に基づく公正な裁判の保障について、調査したりする活動 ・「私たちと国際社会の諸課題」において、国際連合のはたらきや国際社会と法を取り上げ、国家間の相互の主権の尊重と協力、国際機構の役割等について考察したり、よりよい社会の形成者をテーマとして取り上げ、視点を明確にして考察しレポートを作成したりする活動 ○ 知識・技能の習得、活用、探究への対応については、巻末の「卒業論文を書いてみよう」において、学習内容を言語活動を通して表現するなど、知識・技能を活用する学習活動が取り上げられている。
内容の 排列、 構成 ・ 分量等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 内容の構成・排列については、「私たちと現代社会」において、現代社会をとらえる見方や考え方の基礎を学習した後に、政治、経済を排列し、最後の章では、社会科のまとめとして、持続可能な社会の形成についての課題学習を設定するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。 ○ 内容の分量については、「私たちと現代社会」は18ページ、「私たちと経済」は62ページ、「私たちと政治」は74ページ、「私たちと国際社会の諸課題」は28ページであり、総ページ数は223ページで、前回より約3%増となっている。
使用上の 配慮等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習意欲を高める工夫については、次のようになっている。 <ul style="list-style-type: none"> ・各章の導入に、学習の見通しをもたせる「扉のページ」を設けている。 ・「平取町のミニFM局によるアイヌ語放送」を掲載し、北海道の事例から人権問題を考察する工夫がなされている。 ○ 主体的に学習に取り組むことができるような工夫については、次のようになっている。 <ul style="list-style-type: none"> ・広い視野から学習を深めることができるよう、「もっと知りたい公民」や「補足説明」を設けている。 ・よりよい社会の形成に参画する意欲や態度が高まるよう、学習に関連するテーマを解説する「深める公民」を掲載している。 ○ 巻末に年表「現代社会のうごき」を掲載し、分野間の学習の関連付けをするなど、使用上の便宜が図られている。
その他	

社会科（公民）調査研究報告書

書名 観点	帝国書院 社会科 中学生の公民 より良い社会をめざして 932
取扱内容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 公民的分野の目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 <ul style="list-style-type: none"> ・「私たちと現代社会」において、高度経済成長期やグローバル化の進展を取り上げ、地理的分野及び歴史的分野などに関連を図りながら写真や統計資料を比較したり、マンションの騒音問題の事例を取り上げ、問題を追究し、説明したりする活動 ・「私たちと経済」において、企業の企画書を作成する事例を取り上げ、判断した過程や結果をまとめたり、おこづかいの使い方、クレジットカードの危険性を取り上げ、消費生活を営む上での責任を自分の生活とかかわらせて考え説明したりする活動 ・「私たちと政治」において、日本国憲法の考え方やインターネットと人権を取り上げ、基本的人権の意味を考察したり、中高生による議会、裁判の判決を考える事例を取り上げ、地方自治の基本的な考え方や法に基づく公正な裁判の保障について、調査したりする活動 ・「私たちと国際社会の諸課題」において、自衛隊による国際協力や地球温暖化とその国際的な対応を取り上げ、国家間の相互の主権の尊重と協力、国際機構の役割について考察したり、発展途上国の教育をテーマとして取り上げ、視点を明確にして考察しレポートを作成したりする活動 ○ 知識・技能の習得、活用、探究への対応については、章末の「学習をふりかえろう」において、学習内容を言語活動を通して表現するなど、知識・技能を活用する学習活動が取り上げられている。
内容の 排列、 構成、 分量 ・ 等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 内容の構成・排列については、「私たちと現代社会」において、現代社会をとらえる見方や考え方の基礎を学習した後に、政治、経済を排列し、最後の章では、社会科のまとめとして、持続可能な社会の形成についての課題学習を設定するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。 ○ 内容の分量については、「私たちと現代社会」は28ページ、「私たちと経済」は60ページ、「私たちと政治」は74ページ、「私たちと国際社会の諸課題」は41ページであり、総ページ数は232ページで、前回より約5%減となっている。（B5判からA B判に変更）
使用上の 配慮等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習意欲を高める工夫については、次のようになっている。 <ul style="list-style-type: none"> ・各章の導入に、学習の見通しをもたせる「学習の前に」のページを設けている。 ・「旭川市の農業生産法人」を掲載し、北海道の事例から日本の産業を考察する工夫がなされている。 ○ 主体的に学習に取り組むことができるような工夫については、次のようになっている。 <ul style="list-style-type: none"> ・広い視野から学習を深めることができるよう、「未来に向けて」や「連続コラム」を設けている。 ・よりよい社会の形成に参画する意欲や態度が高まるよう、様々な立場から話し合うための題材を提示する「トライアル公民」を掲載している。 ○ 見開きに「地理・歴史をふりかえる」を掲載し、分野間の学習の関連付けをするなど、使用上の便宜が図られている。
その他	

社会科（公民）調査研究報告書

書名 観点	日本文教出版 中学社会 公民的分野 9 3 3
取扱内容	<p>○ 公民的分野の目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「私たちと現代社会」において、グローバル化する世界で生きる私たちや受けつぎ、創造する日本の伝統と文化を取り上げ、地理的分野及び歴史的分野との関連を図りながら写真や統計資料を比較したり、合唱の練習場所の割り当てに関する事例を取り上げ、問題を追究し説明したりする活動 ・「私たちと経済」において、自由貿易に関する事例を取り上げ、判断した過程や結果をまとめたり、消費を支える生活、消費者主権を取り上げ、判断した過程や結果をまとめたり、消費生活を営む上での責任を自分の生活とかかわらせて考え説明したりする活動 ・「私たちと政治」において、ネット社会とつき合う方法やバリアフリーの社会を取り上げ、基本的人権の意味を考察したり、環境保全への取り組み、裁判員裁判のシミュレーションを取り上げ、地方自治の基本的な考え方や法に基づく公正な裁判の保障について、調査したりする活動 ・私たちと国際社会の諸課題」において、国際連合や第二次世界大戦後の主な地域紛争を取り上げ、国家間の相互の主権の尊重と協力、国際機構の役割等について考察したり、これからの社会をテーマとして取り上げ、視点を明確にして考察しレポートを作成したりする活動 <p>○ 知識・技能の習得、活用、探究への対応については、各領域末の「チャレンジ公民」において、学習内容を言語活動を通して表現するなど、知識・技能を活用する学習活動が取り上げられている。</p>
内容の 排列、 構成 ・ 分量 等	<p>○ 内容の構成・排列については、「現代社会をとらえる見方や考え方」において、基礎を学習した後に、政治、経済を排列し、最後の編では、社会科のまとめとして、持続可能な社会の形成についての課題学習を設定するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。</p> <p>○ 内容の分量については「私たちと現代社会」は30ページ、「私たちと経済」は55ページ、「私たちと政治」は89ページ、「私たちと国際社会の諸課題」は43ページであり、総ページ数は249ページで、前回より約4%減となっている。（B5判からA B判に変更）</p>
使用上の 配慮等	<p>○ 学習意欲を高める工夫については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各編の導入に、学習の見通しをもたせる「ナビ」のページを設けている。 ・「手つかずの自然が残る知床半島」を掲載し、北海道の事例から日本の風景を守るための方策を考察する工夫がなされている。 <p>○ 主体的に学習に取り組むことができるような工夫については次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広い視野から学習を深めることができるよう「ズームイン」や「連携コーナー」を設けている。 ・よりよい社会の形成に参画する意欲や態度が高まるよう、社会参画の手がかりを示した特設ページ「明日に向かって」を掲載している。 <p>○ 巻頭に年表「日本の現代史年表」を掲載し、分野間の学習の関連付けをするなど、使用上の便宜が図られている。</p>
その他	

社会科（公民）調査研究報告書

書名 観点	自由社 新しい公民教科書 9 2 7
取 扱 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 公民的分野の目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 <ul style="list-style-type: none"> ・「私たちと現代社会」において、日本の人口ピラミッドの変化や文化の継承と創造を取り上げ、地理的分野及び歴史的分野との関連を図りながら写真や統計資料を比較したり、学校生活での対立と合意の事例を取り上げ、問題を追究し説明したりする活動 ・「私たちと経済」において、株式会社のしくみの事例を取り上げ、判断した過程や結果をまとめたり、消費者を保護するきまりとしくみ、環境保全と私たちの責任を取り上げ、消費生活を営む上での責任を自分の生活とかかわらせて考え説明したりする活動 ・「私たちと政治」において、新しい権利や権利の平等に関する問題を取り上げ、基本的人権の意味を考察したり、地方公共団体の役割、裁判員制度の事例を取り上げ、地方自治の基本的な考え方や法に基づく公正な裁判の保障について調査したりする活動 ・「私たちと国際社会の諸課題」において、国家と国際関係や国連平和協力活動への取り組みを取り上げ、国家間の主権の尊重と協力、国際機構の役割について考察したり、行ってみたい国をテーマとして取り上げ、視点を明確にして考察しレポートを作成したりする活動 ○ 知識・技能の習得、活用、探究への対応については、終章の「課題の探求」において、学習内容を言語活動を通して表現するなど、知識・技能を活用する学習活動が取り上げられている。
内容 排 列、 構 成 ・ 分 量 等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 内容の構成・排列については、「個人と社会生活」において、現代社会をとらえる見方や考え方を学習した後に、政治、経済を排列し、最後の章では、社会科のまとめとして、持続可能な社会の形成についての課題学習を設定するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。 ○ 内容の分量については、「私たちと現代社会」は 36 ページ、「私たちと経済」は 36 ページ、「私たちと政治」は 70 ページ、「私たちと国際社会の諸課題」は 52 ページであり、総ページ数は 224 ページで、前回と同様になっている。
使 用 上 の 配 慮 等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習意欲を高める工夫については、次のようになっている。 <ul style="list-style-type: none"> ・各見開きに、学習内容を解説する「ここがポイント！」を設けている。 ・「阿寒湖周辺のパンケトー地区」を掲載し、北海道の事例から環境問題を考察する工夫がなされている。 ○ 主体的に学習に取り組むことができるような工夫については、次のようになっている。 <ul style="list-style-type: none"> ・広い視野から学習を深めることができるよう、「もっと知りたい」や「課題の探求」を設けている。 ・よりよい社会の形成に参画する意欲や態度が高まるよう、生徒の主体的な学習を促す「ミニ知識」を掲載している。 ○ 各章末に「学習のまとめと発展」を掲載し、分野間の学習の関連付けをするなど、使用上の便宜が図られている。
その他	

社会科（公民）調査研究報告書

書名 観点	育鵬社 新しいみんなの公民 9 3 4
取扱内容	<p>○ 公民的分野の目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「私たちと現代社会」において、少子高齢社会の課題と対応や文化の継承と創造を取り上げ、地理的分野及び歴史的分野との関連を図りながら写真を比較したり、クラスでの文化祭の事例を取り上げ、問題を追究し説明したりする活動 ・「私たちと経済」において、事業に対する銀行の融資に関する事例を取り上げ、判断した過程や結果をまとめたり、消費者の権利と保護、環境の保全を取り上げ、消費生活を営む上での責任を自分の生活とかかわらせて考え説明したりする活動 ・「私たちと政治」において、男女の平等と家族の価値や国際社会における人権を取り上げ、基本的人権の意味を考察したり、地域おこしの例や観光資源、裁判員になって判決を考える事例を取り上げ、地方自治の基本的な考え方や法に基づく公正な裁判の保障について、調査したりする活動 ・「私たちと国際社会の諸課題」において、国際連合や第二次世界大戦後の主な地域紛争を取り上げ、国家間の相互の主権の尊重と協力、国際機構の役割について考察したり、持続可能な社会をテーマとして取り上げ、視点を明確にして考察しレポートを作成したりする活動 <p>○ 知識・技能の習得、活用、探究への対応については、巻末の「テーマを決めてレポートを作成しよう」において、学習内容を言語活動を通して表現するなど、知識・技能を活用する学習活動が取り上げられている。</p>
内容の 排列、 構成、 分量 ・ 等	<p>○ 内容の構成・排列については、「現代社会の文化と私たちの生活」において、現代社会をとらえる見方や考え方の基礎を学習した後に、政治、経済を排列し、最後の章では、社会科のまとめとして、持続可能な社会の形成についての課題学習を設定するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。</p> <p>○ 内容の分量については、「私たちと現代社会」は 34 ページ、「私たちと経済」は 50 ページ、「私たちと政治」は 78 ページ、「私たちと国際社会の諸課題」は 45 ページであり、総ページ数は 248 ページで、前回より 8 % 増となっている。（B 5 判から A B 判に変更）</p>
使用上の 配慮等	<p>○ 学習意欲を高める工夫については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各章の導入に、学習の見通しをもたせる「入り口」を設けている。 ・根室での「サンマの水揚げ」を掲載し、北海道の事例から産業構造を考察する工夫がなされている。 <p>○ 主体的に学習に取り組むことができるような工夫については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広い視野から学習を深めることができるよう、「理解を深めよう」や「考えよう」を設けている。 ・よりよい社会の形成に参画する意欲や態度が高まるよう、自分の人生と学習内容とのかかわりについて知る「人生のモノサシ」を掲載している。 <p>○ 巻頭に「戦後の日本と世界の主なできごと」を掲載し、分野間の学習の関連付けをするなど、使用上の便宜が図られている。</p>
その他	

